

# 平成28年度事業報告

(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)

## I 概況

富士見市、ふじみ野市及び三芳町シルバー人材センターが、市町の合併によらず広域合併した初年度でした。大切にしてきたことは、会員の権利義務等については、対等の立場で合併すること、3センターの特徴を大切にしながら、統一するものについてもソフトランディングできるように進めてきました。

また、合併の大きな目的は、広域的に会員の就業機会を増やし、同時に会員数の増加を目指すことでした。

事業実績をみると、契約金額は、請負契約1,075,699,818円（前年比101.3%）、派遣契約61,977,904円（前年比225.8%）合計1,137,677,722円となり、前年比104.4%でした。特に派遣契約（発注者の指揮命令を受けて仕事をする契約。）は倍増となりました。会員数は、平成29年3月末時点では2,097人で前年比52人の減少となりました。新規入会者は333人でしたが、退会者が385人で新規入会者を上回る結果となりました。

今後ますます加速することが想定される高齢社会に向けて、国は、働き方改革の一環として高齢者の働く機会の確保についても積極的に推進し、シルバー人材センター事業の活用についてもさらに進める予定です。平成27年度から進められた一般労働者派遣事業の推進について、当センターは飛躍的に伸びた年でした。

会員就業中の事故は、傷害事故は16件（うち重篤事故は2件）、賠償事故は6件でした。また、就業中に自動車の運転に係る交通事故も発生しました。ひとたび事故が発生すると会員本人やご家族、そしてセンターも大きなダメージを受けることとなります。事故への対策を急がなければなりません。

合併して間もない7月に、旧三芳町シルバー人材センターで経理処理にあっていた元事務局職員が、平成22年4月から横領を行っていたことが発覚しました。事実確認と被害額を確定するために、経理処理調査委員会を設置し調査にあたり、調査の結果、横領があったことは間違いないと認定しました。また、調査と並行して、被害額の返済を本人に求め、全額返済されました。

この件については、このような不祥事が二度と起こらないよう、再発防止策を策定し、役職員が一丸となって業務に取り組んでいくこととしました。

## II 事業実施報告

### 1 あらゆる機会を通じて就業機会を確保します

営業専門の事務局職員を配置し積極的な営業活動を展開し、新規に41件の契約（請負と派遣合計）ができました。新規の発注者に加え、すでに会員が就業している発注者からも新たな仕事を獲得することができました。これは会員の就業が評価された結果と言えます。

請負にはなじまないと判断される業務については、発注者に派遣事業についてご理解いただきながら積極的に派遣契約を進めました。

しかし、仕事を受注しても、就業できる会員がいないことから契約に至らないケースもあり、発注者の求めるものと会員の就業希望とのミスマッチがみられました。

### 2 強固な組織づくりを進めます

センターの事業推進や課題解決のため、5つの専門委員会を設置し検討しました。委員会は理事3人会員3人により構成しています。重要な事項等は専門委員会の提案により理事会で協議し、方針決定しています。

地域班は、旧センターの組織を引き継ぎ、活動費等費用の面については統一した活動をしてきました。ほとんどの班で最低年1回は懇親会等の集まりを持ちました。中には班で地域の清掃活動をボランティアで実施する等、独自の活動をしている班もありました。現在、地域班班長へのアンケートを実施するなどし、地域班の活動や組織について見直しを進めているところです。

1会員1人獲得運動は、会員向けのお知らせをしましたが、周知が足りませんでした。今後よりよい方法を検討する予定です。

### 3 事故0を目指して、安全就業対策を進めます

センターの安全就業に対する取組みの基本としての、安全基本計画について検討しました。仕事別グループに安全担当を置くことやセンターがいかに取組むのか等を検討し、今後理事会において決定する予定です。

傷害事故のうち2件の重篤事故の発生を受けて、特にアパートやマンション清掃に就業中の会員を対象に、受講率100%を目指して事故防止のための講習会を開催しました。また、植木の剪定や草刈り作業を中心に安全委員会委員により安全巡回を6回行いました。

### 4 シルバー人材センターらしい仕事を目指して適正就業を推進します

公共関係の仕事は、就業年限を区切って交替することとしています。すでに実施している旧ふじみ野市、富士見市（一部実施）における就業交代には、すべての会員が応募できるようにしました。平成30年度にはすべての公共関係（一部除くものあり）の仕事に適用する予定です。

新たな仕事別グループの設置はできませんでした。同じ仕事や就業場所に概ね4人以上の会員により設置することができます。就業会員同士の打合せや事務局との打ち合わせなどをスムーズに行うためにも、さらに仕事別グループの設置を進める必要があります。

平成29年2月2日に、埼玉労働局による指導監督が行われ、後日、是正指導書が交付されました。3件の契約について、請負契約にはふさわしくない内容が含まれているという指導があり、1件は派遣契約へ切り替え、他2件については請負契

約の内容を見直ししました。また、すべての請負契約について適正であるか否か、平成 29 年度中旬ごろまでに総点検を行うことにしました。

#### 5 会員の融和を進めます

各種イベントは、旧センターでの取り組みを大切にしながら開催しました。シルバーフェスティバルや会員作品展は、旧センターの会員が中心になり、他地域の会員も参加し実施することができました。グラウンドゴルフは、参加申し込みが少なく中止にしました。

会員が趣味等を楽しむために、自主的に活動しているサークル活動の支援について検討しました。現在のサークルには会員のみで構成するものと会員以外の者がサークル員となっているものがあり、取り扱いについて今後の検討課題となっています。

#### 6 積極的な PR 活動を推進します

センターの機関紙として「シルバー人間東部」を 2 回発行し、理事会や専門委員会の状況等センターの活動状況を会員等に周知しました。

センターの活動状況や会員募集のために、新聞折込みを 1 回、チラシの全戸配布を 2 回行い、積極的に PR 活動を実施しました。入会説明会は毎月 4 回開催し、333 人が新たに会員となりました。

また、富士見市、ふじみ野市や三芳町で開催された、産業まつり等各種イベントに参加し、センター PR チラシを配布により周知に努めました。